

事業実績報告書

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-07	講座名	りす山あそび「季節を感じる山歩きをしよう！」
記載日	2018/7/19	団体名・企業名	えこども
〈講座全体の概要〉(300字程度)			
<p>アスファルトではない東谷山の「でこぼこ道」や雨上がりの自然に出来た「沢」を親子で裸足で歩き、日ごろできない事を体験する。草や土に触れ、森の新鮮な空気を全身に行き渡らせる。この時期(0~6歳)の子にとって、アスファルトやピータイルの床で過ごさせるのはいいとは言えない、森や川や草や木に直接触れる場所で思い切り過ごすことで子どもは成長していく。親も森林浴によるリフレッシュ効果、いつもは「やめて！」と「やらないで！」すぐに声をかけてしまうことも、この環境下では優しく子どもたちを見守れる眼差しになる。</p>			
〈写真添付スペース(1~2点)〉			
			
※写真1の説明		※写真2の説明	
6/9 東谷山にて。ミッションカードをつくり、子どもたちに提示します。今回はエゴの実を見つけて、実に含まれるサポニンの天然界面活性剤でお洗濯やシャボン玉を楽しむ		木からとったエゴの実と、川の水を使って、ぶくぶく泡立てて楽しそうに遊ぶこどもたち。誰が一番アワアワになったかみんなで競争していました。	
〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)			
<p>ただの山登りにならないよう、講座毎に「ミッションカード」を作成し、この時期しか見られない植物の紹介や遊びをレクチャー(エゴの実を使った泡遊びなど)。普段何気なく見過ごしている植物たちの「今を生きる」姿を肌で感じ、「子育て」と相通じるものをスタッフ、参加者全員で感じる事ができた。山頂をゴールとせず(子どものペースに合わせ途中で引き返すことも大切)に過程を楽しむ事を目的とする事を開催前に参加者に説明する事で、参加者が主体的に森や山の環境に親子で触れ合う場面が多々見えられた。</p>			
〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)			
<p>①山登りと子育てはよく似ていると感じた。山頂がゴールでなく登る過程が大事で、我が子が泣いては「ここで座って休憩しようか」「お水飲もうか」「引き返そうか」など、普段はイライラする事も、森の中ではゆっくりじっくり我が子と接することができ、とても気持ちよかった。②いつもは児童センターで過ごしていて、自然と触れる機会もなかったのでよかったです。③登るだけがすべてでなく、こどもたちの目線で見ると山での発見はたくさんあって大人が何も言わなくても自分から草木を摘み、沢で遊び、こどものたくましさを感じました。小さなよちよちの子でも「山歩き」ができるんだなと思いました。④帰宅してから「エゴの実で泡ぶくぶくってなってみないを見せて、うれしかったー」と子どもから嬉しそうに話をしてくれました。幼稚園の様子はいつも聞いてもよくわからないことが多いですが、この講座に親子で参加出来たから我が子の喜びに共感できました。⑤夕飯を食べるとすぐに寝てしまい、次の日は早起きできて感動しました。やっぱり外遊びは大切だと感じました。</p>			